

科目名	保健・体育 Health and Physical Education			担当教員	横山学		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	10G02_20120	単位区別	履修
学習目標	様々なスポーツの運動理論を理解し、基礎技術を修得する。その種目のルールを把握し、それらのスポーツを実践できるようにする。また、スポーツテスト等で個人の体力・運動能力を把握し、それらの維持と向上をはかる。						
進め方	個人種目については、各種目の基本の理論を説明した上で、基礎技術の実践を行い、修得できるようにする。団体種目については、個人の基礎技術を習得した上で、各種目の運動理論を理解する。また、各種目のルール説明を行い、試合を行うことで、それらの種目の運営をできるようにする。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 年間授業の概要説明(1) 【ソフトボール】 2. 捕球・送球の基礎技術(2) 3. バッティングの基礎技術(3) 4. ルール説明・関係プレーの理論(2) 5. ゲーム(6) 6. 実技試験 (1) 【バレーボール】 7. パス・スパイク・サービスの基礎技術(7) 8. ルール説明(1) [前期中間試験]			年間計画を説明し、体育授業の目的・取り組む姿勢を理解する。 F2:1 4  ソフトボールの基礎技術（捕球・送球・バッティング）を修得し、ゲームの中で、関係プレーが行なえるようにする。また、ルールを把握しゲームを運営できるようにする。 F2:1 4, F3:1 5  バレーボールは、1年時にパスの技術を修得しているため、主にスパイクの基礎技術を修得する。また、			
	9. ゲーム(7) 10. 実技試験(1) 【水泳】 11. 各種目練習(3) 12. リレー・メドレーリレー(2) 13. タイム測定(1) 【マット運動】 14. 基礎技術の修得(7) 15. 実技試験(1) 前期末試験			ルールを把握し、ゲームを運営できるようにすると共に、サーブレシーブのフォーメーションを理解し、ゲームの中で、スパイクが打てるようにする。 F2:1 4, F3:1 5  水に慣れると共に、各競泳種目を理解し、それらの泳ぎの向上を目指す。 F2:1 4, F3:1, 2 マット運動の基礎技術を修得し、自己の能力に適した技を選んだ上で、連続的に表現できるようにする。 F3:1, 2			
	【スポーツテスト】 16. 記録測定(3) 【陸上競技】 17. 3種競技の基礎技術(8) 18. 記録測定(3) 【サッカー】 19. パス・トラップ練習(2) 20. ルール説明・ゲーム(9) 21. 実技試験(1) [後期中間試験]			毎年測定することにより、自分自身の運動能力を把握し、運動能力の向上を目指す。 F1:1 4  個人の運動能力を向上させると共に、走跳投3種目の技術を修得する。 F2:1 4, F3:1, 2  ルールとシステムを理解し、ゲームを運営できるようにする。 F3:1 5			
	【バスケットボール】 22. 対人練習・ルール説明(3) 23. フォーメーションの理論(1) 24. ゲーム(8) 25. 実技試験(1) 26. 【保健】(6) 後期末試験			バスケットボールの基礎技術を修得する。2人以上のプレイを理解し、ゲームの中で活用できるようにする。また、ルールを把握し、ゲームを運営できるようにする。 F2:1 4, F3:1 5  いろいろな社会の環境を理解する。 A1:2, 4			
	評価方法						
	各種目の実技試験と平常点（出席率，授業態度）で総合評価を行う。						
	履修要件						
	特になし						
	関連科目						
特になし							
教材							
教科書「アクティブスポーツ」(総合版) 大修館書店							
備考							
特になし							